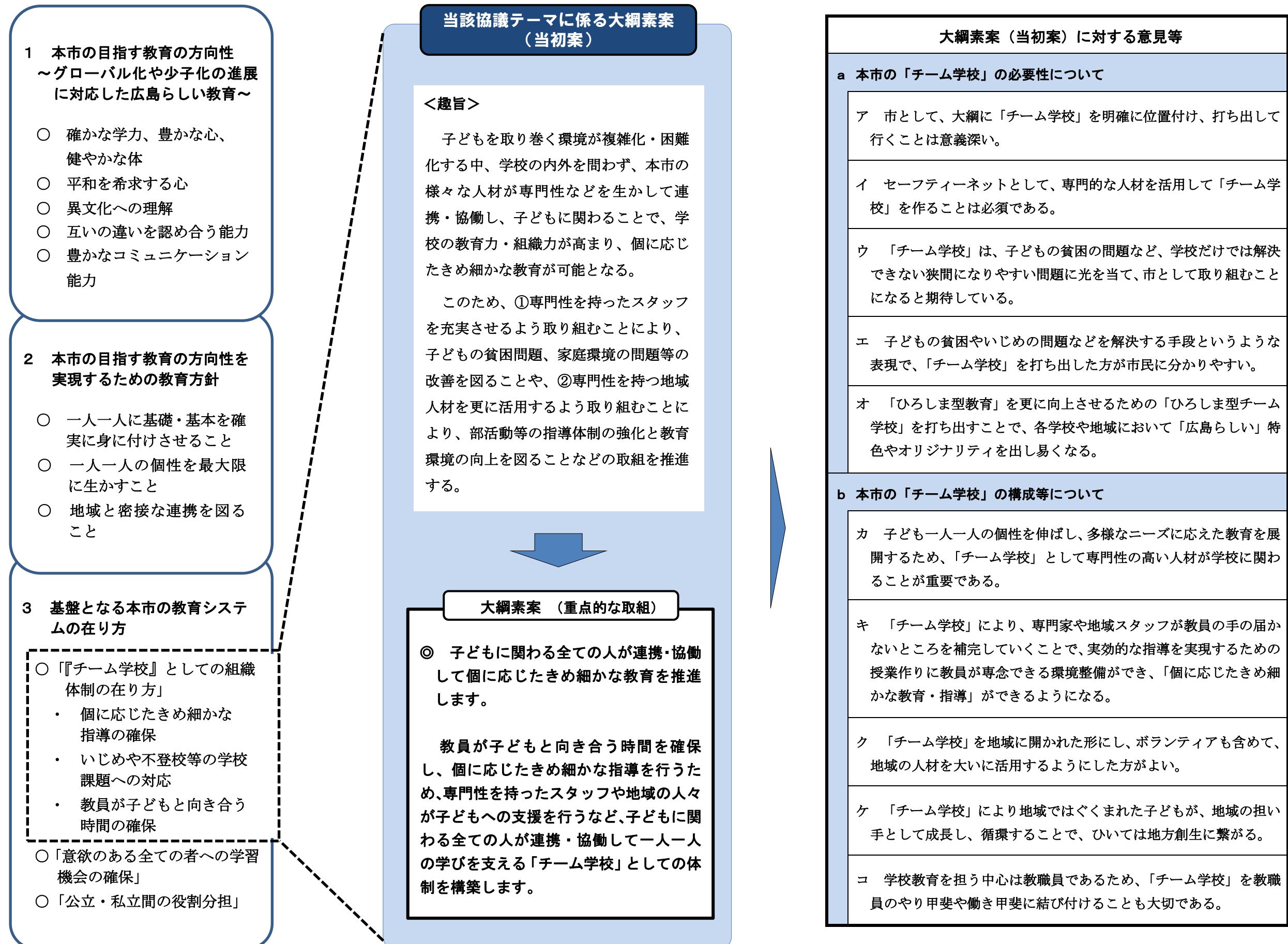


協議テーマ①『「チーム学校」としての組織体制の在り方』における大綱素案に対する意見について



当該協議テーマに係る大綱素案（当初案）

<趣旨>

子どもを取り巻く環境が複雑化・困難化する中、学校の内外を問わず、本市の様々な人材が専門性などを生かして連携・協働し、子どもに関わることで、学校の教育力・組織力が高まり、個に応じたきめ細かな教育が可能となる。

このため、①専門性を持ったスタッフを充実させるよう取り組むことにより、子どもの貧困問題、家庭環境の問題等の改善を図ることや、②専門性を持つ地域人材を更に活用するよう取り組むことにより、部活動等の指導体制の強化と教育環境の向上を図ることなどの取組を推進する。

大綱素案（重点的な取組）

◎ 子どもに関わる全ての人材が連携・協働して個に応じたきめ細かな教育を推進します。

教員が子どもと向き合う時間を確保し、個に応じたきめ細かな指導を行うため、専門性を持ったスタッフや地域の人々が子どもへの支援を行うなど、子どもに関わる全ての人材が連携・協働して一人一人の学びを支える「チーム学校」としての体制を構築します。

大綱素案（当初案）に対する意見等

a 本市の「チーム学校」の必要性について

ア 市として、大綱に「チーム学校」を明確に位置付け、打ち出して行くことは意義深い。

イ セーフティーネットとして、専門的な人材を活用して「チーム学校」を作ることは必須である。

ウ 「チーム学校」は、子どもの貧困の問題など、学校だけでは解決できない狭間になりやすい問題に光を当て、市として取り組むことになることを期待している。

エ 子どもの貧困やいじめの問題などを解決する手段というような表現で、「チーム学校」を打ち出した方が市民に分かりやすい。

オ 「ひろしま型教育」を更に向上させるための「ひろしま型チーム学校」を打ち出すことで、各学校や地域において「広島らしい」特色やオリジナリティを出し易くなる。

b 本市の「チーム学校」の構成等について

カ 子ども一人一人の個性を伸ばし、多様なニーズに応えた教育を展開するため、「チーム学校」として専門性の高い人材が学校に関わることが重要である。

キ 「チーム学校」により、専門家や地域スタッフが教員の手の届かないところを補完していくことで、実効的な指導を実現するための授業作りに教員が専念できる環境整備ができ、「個に応じたきめ細かな教育・指導」ができるようになる。

ク 「チーム学校」を地域に開かれた形にし、ボランティアも含めて、地域の人材を大いに活用するようにした方がよい。

ケ 「チーム学校」により地域ではぐくまれた子どもが、地域の担い手として成長し、循環することで、ひいては地方創生に繋がる。

コ 学校教育を担う中心は教職員であるため、「チーム学校」を教職員のやり甲斐や働き甲斐に結び付けることも大切である。